

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和6年度>（浜名区 区振興課）

事業名	古墳巡りウォーキング（補助回数：1回目）			
実施団体名	遠州山辺の道の会			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の古墳に特化して、より専門的な解説を行うことで、理解を深めてもらう。 ・初心者の方でも参加しやすい様な工夫をして、誰でも気軽に地域の歴史的文化財資源に触れる事が出来る様にして行く事で、貴重な文化財や遺跡を保存・継承する。 			
事業の成果及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・11月10日に染地台野鳥の森公園発着で実施。参加者162名、スタッフ21名。浜松市博物館館長の解説で、内野古墳巡りコースを散策。各古墳で「御墳印」を配付。完歩者に缶バッジを進呈した。 ・12月1日に西鹿島駅発、宮口駅着で実施。参加者120名、スタッフ24名。浜松市文化財課職員の解説で北嶺古墳を散策。各古墳で「御墳印」を配付。完歩者に缶バッジを進呈した。 			
総事業費	344,275円	補助金額	150,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化に触れながら、健康づくりにも貢献するイベントで、専門的な内容を分かりやすく説明しようとする工夫が見られる点が評価できる。 ・地元の高등학교の協力もおおげ、流行りの御朱印巡りの仕立て実施しており、工夫がみられる。 ・今回の事業で作成した缶バッジに余剰があれば、今後の有効活用に期待する。 ・事業の目的として挙げている内容が、着実に実施されている印象である。浜名高校書道部員の御墳印づくり協力ということも、こうした点で評価したい。 ・参加者アンケート等による効果測定ができたならば、さらに良いと思う。 			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和6年度>（浜名区 区振興課）

事業名	ラテンのリズムを感じよう！（補助回数：1回目）			
実施団体名	Hamamatsu Traditional Music Society			
事業の目的	<p>・豊かな音楽文化のある都市に発展し、併せて若手演奏家が多く輩出され、オリジナルな音楽文化創造と発信されることや、地方における音楽文化の振興と環境づくり、若手音楽家の育成等に繋がることを目指す。</p>			
事業の成果及び内容	<p>・9月14日に浜北北部中学、9月15日に浜名高校と浜松商業高校、9月16日に北浜東部中学で公開バンドクリニックとミニコンサートを実施。伊波淑氏、森村献氏、白井宏司氏を講師として、練習曲を指導。練習後、ミニコンサートを開催した。</p> <p>・2月9日にサーラ音楽ホールで成果発表会とコンサートを実施。バンドクリニックに参加した学校の成果発表会とプロによるコンサートを開催。ロビーでは、浜松市楽器博物館の打楽器体験もおこなった。</p> <p>・事業全体で観客228名、生徒および先生150名、ミュージシャン3名が参加した。</p>			
総事業費	1,379,892円	補助金額	689,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<p>・プロの直接指導は、普段はなかなか体験できないような大きな「気付き」を得られるため、将来のある若者への文化振興に資する事業として、評価できる。</p> <p>・主に地元の中・高校生への吹奏楽部を対象としており、コンサートも区内で開催するなど地域への貢献度が高い事業である。</p> <p>・チケットの売れ行きから、事業のPRについて工夫が必要である。</p> <p>・地域の中・高校生に貴重な音楽体験をもたらしたことで、それを通じて音楽文化の共有が図られたことはすばらしい。</p> <p>・参加者の声を集めた客観的な評価を確認したい。</p>			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和6年度>（浜名区 区振興課）

事業名	令和6年度はままつ演劇クラブ（補助回数：1回目）			
実施団体名	公益社団法人教育演劇研究協会			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市の児童生徒が、学校や学年を超えた文化活動を通して、表現やコミュニケーション能力を育みながら、地域文化活動を活性化する。 ・子どもたちの居場所づくりとしての役割も担う。 			
事業の成果及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童青少年のための演劇クラブの活動を、浜名区内を拠点に実施。市内在住の小5から中2の児童21名が参加（1名途中退会）。うち、区内在住者は15名。練習と成果発表会で29回、130時間の活動をおこなった。 ・3月2日になゆたホールで成果発表会を実施。劇団たんぼの台本を教材に成果発表。来場者は216名だった。 			
総事業費	1,138,391円	補助金額	538,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・地元出身の指導者による、地域インフラを活用した活動で、地域の文化振興への貢献という点で評価できる。 ・主に浜北地域の児童が演劇体験を通して表現能力を高めることができる貴重な事業であり、今後も継続的に実施することを期待する。 ・事業の参加人数を少しでも増員できるとよい。 ・OBの児童が本事業をサポートできるような仕組みをぜひ構築してほしい。 ・事業目的の達成度について、参加者アンケートから高く評価できる。 			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、
「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和6年度>（浜名区 区振興課）

事業名	食と農で、浜松を元気に（補助回数：1回目）			
実施団体名	小さなタネの会			
事業の目的	・温暖な気候や長い日照時間、海、川、湖、山などの豊かな自然環境を生かしたサステイナブルな農業の推進や、学校給食や家庭などでの農作物の地産地消を推進するための啓発をする。			
事業の成果及び内容	・6月2日、6月29日、11月5日に上映会を開催。6月29日、8月18日、9月23日、11月5日に講演会を開催。10月27日にマルシェイベント「mikke!」を開催した。 ・その他にも、就農体験や収穫イベント、堆肥プロジェクトの勉強会なども実施した。			
総事業費	787,782円	補助金額	393,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	・今後は、イベントごとの参加者数の把握にも努めてほしい。 ・イベント開催時の写真やチラシ等があると事業内容をイメージしやすい。 ・上映会等の内容と参加者の感想も確認できるようにしてほしい。			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和6年度>（浜名区 区振興課）

事業名	プレスフェスティバル（補助回数：1回目）			
実施団体名	一般社団法人プレス浜松			
事業の目的	・浜名区で暮らす人たちにスポーツと通じた健康的な暮らしを啓発しつつ、地域文化に触れることで豊かな社会生活を送るきっかけづくりとする。			
事業の成果及び内容	・バレーボールを中心とした、浜松エリアに関わるプロスポーツチームを集め、スポーツの楽しさを伝えるとともに、地域文化や教育、食、医療などの他分野と連携し、新しい交流を生む地域活性化イベントを開催。参加者 2,200 名、スタッフ 50 名。スポーツを体感するアトラクションやプロスポーツ選手との交流の場、スポーツの素晴らしさを感じられるブースなどを用意した。			
総事業費	2,794,000 円	補助金額	1,397,000 円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興とともに健康・福祉の向上に資する事業で、参加者も非常に多く、効果的な事業実施という点で評価できる。 ・集客力も高く、地域への貢献度が高い事業である。 ・浜北地区を盛り上げるイベントとして、今後も何らかの方式で継続的に開催することを期待する。 ・スポーツと地域活性化の親和性は高く、健康や産業という面でも効果的な取り組みであったと思う。 			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、
「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和6年度>（浜名区 区振興課）

事業名	万葉オペレッタ「梅花の宴」（補助回数：1回目）			
実施団体名	万葉の森公園「伎倍の茶屋」			
事業の目的	・地域の特色である万葉文化を継承する。			
事業の成果及び内容	・児童35名が演者として参加。5回の練習を経て、9月14日になゆたホールで公演をおこなった。 ・第1部は、11人の児童が好きな万葉歌を現代のメロディーに乗せて披露。第2部は、35名の児童が万葉集に収められた「梅花の宴」を歌と劇で表現。194名の観客を集めた。			
総事業費	233,902円	補助金額	75,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	・万葉まつり当日に関連イベントを開催することも検討してほしい。 ・万葉集や万葉の森公園という、地域資源（文化、インフラ）を活用した取り組みという点が評価できる。 ・幅広い年齢層に向けた取り組みということでの進展が見られると、なお良い。 ・継続して実施するのであれば、課題や反省点を活かしてブラッシュアップしてほしい。 ・万葉まつりを盛り上げるためのプレイベントとして、今後も継続的な実施を期待する。 ・万葉集と地域を結ぶ4首に、より強くフォーカスしてほしい。			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、
「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和6年度>（浜名区 区振興課）

事業名	セーフティバイクイベント in 浜北 2024（補助回数：1回目）			
実施団体名	バイクの集い in 浜北実行委員会			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・バイク生産が盛んな地域が率先して交通安全啓発イベントを実施することにより、地域内の交通事故の減少につなげ、交通安全意識を向上させる。 			
事業の成果及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・11月3日に、ブレ葉ウォーク浜北駐車場で、長さ15m、幅30cmの走行板を製作し、バイクによる低速走行の走破タイムを競うイベントを実施。競技者および観客の交通安全意識向上につなげた。 ・マーチングバンドによるパレードやトライアルバイクのデモンストレーション、レジェンドライダーのサイン会などで交通安全啓発も実施した。 			
総事業費	234,714 円	補助金額	113,000 円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生向けの交通教室も事業に含めてもらえると良い。 ・事業目的として、より「交通安全の啓発」に重点を置く必要性も感じる。 ・今後の事業において、令和5年7月1日の道交法等改正により新たに基準が示された「特定小型原動機付自転車」の交通ルールの周知等を行ってほしい。 ・地域と関連性のあるバイクを切り口とし、交通安全啓発に取り組むという視点は良いと思う。 ・成果の把握として、参加者の意識向上をデータで示してもらえると望ましい。 			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、
「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。